

# 研修だより NO.3

世羅町立せらひがし小学校

令和6年8月28日(水)

いよいよ2学期です！一年間で一番長い学期が始まり、子ども達にとっても教員にとっても成長のチャンスですね。

「子ども自ら進める授業づくり」、「ICT の利活用」、「ふりかえりの充実」等、共通認識をしていき、なにをどのように2学期にみんなで頑張っていくのか、足並みをそろえていけたらと思います。



## 1 せらひがし小学校 研究主題

### 【研究主題】

「図形」領域において、数学的な見方・考え方を活かし、子ども自ら進める授業づくり  
～「ICT 機器の利活用」や「ふりかえり」の充実を通して～

### ○研究仮説

算数科授業「図形」領域において、日常的、効果的に、問題解決の場面で児童一人一人が発達段階に応じて ICT を効果的に利活用したり、「数学的な見方・考え方」を働かせながら、知識及び技能を習得したり、習得した知識及び技能を活用して課題解決に取り組んだりすれば、自ら学んでいく子どもが育つだろう。

## 2 研究内容

### (1) ICT の利活用

「確かめる」「広げる」「深める」場면을意図的・計画的に組み込む。

せらひがし小学校のみなさんの  
1学期の算数科における  
ICT 利活用率と活用方法

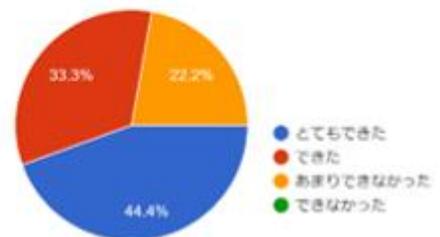
#### 【導入場面】

- これまでの学年の復習や図の掲示をする。
- 問題把握のために電子黒板や jamboard で視覚支援を行う。

#### 【問題解決の場面】

- jamboard を使って、自力解決の場での図式化（数直線に書き込む、表に整理する、式を書く）
- デジタル教科書で、児童から出なかった考え方や式を提示して説明させる。
- 教科書や計算ドリルの QR コードを読み取り、練習問題を行う。
- 問題を解いて思考したり、交流したりする場面に jamboard を使用する。

ICTを利活用した授業を行うことができた（算数科を中心に）  
9件の割合



## 【ふりかえりの場面】

- ・フォームで、ふりかえりの記入をし、スプレッドシートの集計機能で即時共有
- ・ふり返りをスライドに入力しクラスルームの課題として提出する。



各学級や職員の ICT 利活用について、月に 1 回 ICT 利活用交流会で共有し、ICT の有効活用を更に進めていく。また Jamboard に代わる、Canva のホワイトボードやスタディネットを活用して、児童の個人端末使用の意欲や能力を高めることで、自発性やコミュニケーション能力を高め、自ら進んで学ぶ子ども達へとつなげていく。

## (2) 「ふりかえり」の充実

目的を明確にした「ふりかえり」を継続的に取り組む。

1 学期の研修部からは、「ふりかえり」の時間をしっかり（5分程度）とり、今日の学習で自分が何を学んだのか。何が分かったのか。それを今後どう生かしていきたいのかをアウトプットすることで、より理解を深めることではないかと考え、みんなで「ふりかえり」をしっかりとやっていこう！という話を共有してきた。「ふりかえり」と言ってもやり方は先生方によって様々で、記述であったり、フォームであったり統一はしなかった。1 学期はまず、「ふりかえり」の時間を確保することに取り組んでもらった。

そして 2 学期考えてほしいのは、ふりかえりの内容だ。ただ「ふりかえりをしましょう！」では、めあてをそのまま写し「～ができるようになりました。」「～が分かりました。」という、ただ書くだけの「ふりかえり」ばかりになり、せっかく大切な授業時間が無駄になってしまう。



まずは、2学期にこの取り組みをやってみましょう！

- ① 「ふりかえり」の目的を子ども達と共有する。(A～E から選択する)
- ② 「ふりかえり」の時間を確保し、習慣化する。
- ③ 「ふりかえり」から見えた子どもの学びの実態を授業や指導につなげる。

- A：この学習を通してできるようになったことを書きましょう。(学習内容)  
B：参考になった友達の発言や助言について書きましょう。(共通点・相違点)  
C：何をきっかけにして「めあて」を達成したのかを書きましょう。(学習活動)  
D：課題を解決するために、試行錯誤したことを書きましょう。(学習活動)  
E：この学習で今後の学習や生活に生かせそうなことを書きましょう。(学習のつながり・日常生活・社会生活)

※「わたしは～」からはじめると、自分のこととして振り返ることができる。

### 【「ふりかえり」に期待される主な効果】

- ★知識・技能、学習内容の定着
- ★学びに向かう力の向上
- ★学びの捉え直しや応用・発展
- ★新たな「問い」の発見
- ★算数科の系統性の理解